



## 通信販売（物販、サービス・デジタルコンテンツ）の国内市場を調査

－ 2012年見込（前年比） －

物販市場：6兆2,734億円（7.6%増） スマホ経由の利用が増加、家電製品・パソコンが回復  
 サービス・デジタルコンテンツ市場：1兆2,535億円（9.9%増） モバイル向けゲーム配信など好調

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811）は、2012年9月から11月にかけて通信販売（通販）の国内市場を調査した。

その結果を報告書「通販・eコマースビジネスの実態と今後 2012-2013 市場編」にまとめた。

この調査では、通販市場のうち、物販については、「カタログ」「テレビ」「小売拠点型」「インターネット」「モバイル」「ラジオ」の通販形態（使用メディア）別と、「食品・産直品」「健康食品・医薬品」「ビューティ他」「生活雑貨」「アパレル」「家電製品・パソコン」「書籍・ソフト」「通信教育・講座」「家具・インテリア・寝具」の商品カテゴリー別に分類し、各市場の現状を分析して今後を予測した。

また、物販以外の「鑑賞・観戦チケット」「音楽・映像配信」「ゲーム配信」「携帯情報・データ配信」などは、サービス・デジタルコンテンツとして市場動向を捉えた。

### <調査結果の概要>

	2011年	前年比	2012年見込	前年比
物販※1	5兆8,280億円	108.4%	6兆2,734億円	107.6%
サービス・デジタルコンテンツ※2	1兆1,405億円	113.1%	1兆2,535億円	109.9%
通販合計	6兆9,685億円	109.1%	7兆5,269億円	108.0%

※1：カタログ通販、テレビ通販、ラジオ通販において、注文手段がインターネットやモバイルである場合は、インターネット通販やモバイル通販に含んだ。また、モバイル通販は、携帯電話（フィーチャーフォン）向けサイトおよびスマートフォン向けサイトを対象としており、携帯電話やスマートフォンによるPC向けインターネットサイトの利用は、インターネット通販に含んだ。

※2：旅行ツアーや航空チケット、ゴルフ場などの予約サービスは対象外とした。

物販市場とサービス・デジタルコンテンツ市場を合わせた通販市場は、2011年に前年比9.1%増の6兆9,685億円となった。東日本大震災による買い控えの一方、店頭で品薄になった商品を通販で購入するなど新たな利用者の増加や、備蓄・節電関連の需要の高まりといった動きも見られた。また、スマートフォンの急速な普及に伴って物販ではモバイル通販の利用者が増加したほか、サービス・デジタルコンテンツもゲーム配信や携帯情報・データ配信が伸ばした。

2012年の通販市場は、同8.0%増の7兆5,269億円が見込まれる。震災の影響で2011年に苦戦した企業の実績回復が見られるほか、通販市場に新規参入する企業が増え取り扱う商品の品揃えが広がっている。また、スマートフォン経由での利用増加も市場拡大を後押ししている。

### 【物販】

2011年の物販市場は、前年比8.4%増の5兆8,280億円となった。通販形態別では、インターネット通販とモバイル通販が物販市場全体の拡大を牽引したほか、規模は小さいもののネットスーパーを中心とした小売拠点型通販が高い伸びを示した。商品カテゴリー別では、店舗での購入から通販へのシフトが見られるアパレルや書籍・ソフトなどが伸ばしたほか、震災後にミネラルウォーターや保存食などへの需要が高まったことで食品・産直品が大幅に拡大した。一方、家電製品・パソコンは地デジ特需が一段落し微増に留まった。

2012年は、スマートフォンの普及と利用機会の増加によるインターネット通販、モバイル通販の拡大や、震災の影響を受けた企業の実績回復、また、家電製品・パソコンにおいて掃除機や健康・美容家電、タブレット端末など需要拡大が期待される商材への注力などを背景に、物販市場は前年比7.6%増の6兆2,734億円が見込まれる。

#### 【サービス・デジタルコンテンツ】

2011年のサービス・デジタルコンテンツ市場は、前年比13.1%増の1兆1,405億円となった。参入各社がスマートフォン向けサービスを強化している中、拡大が続いているゲーム配信に加え、音楽関連のチケット販売や電子書籍配信も好調だった。

2012年は、ゲーム配信では収益基盤の一つであった“コンプリートガチャ”のサービス終了を受けて成長が鈍化するものの、スマートフォンの普及に伴いモバイル向けの需要開拓が進んでいることや、好調を維持する音楽関連のチケット販売、市場が活性化している電子書籍配信などが後押しして、サービス・デジタルコンテンツ市場は前年比9.9%増の1兆2,535億円が見込まれる。

#### <注目市場>

##### 【物販】

##### 通販形態別：モバイル通販

2011年	前年比	2012年見込	前年比
6,159億円	128.9%	7,637億円	124.0%

携帯電話(フィーチャーフォン)向けサイトおよびスマートフォン向けサイトを媒体としたモバイル通販市場は、2011年に前年比28.9%増の6,159億円となった。2012年は、同24.0%増の7,637億円が見込まれる。

新規需要の開拓が落ち着いて成長が鈍化しているインターネット通販に次ぐ主要な通販形態として、スマートフォンの急速な普及を背景に参入各社はモバイル通販へ注力度を高めている。スマートフォンへの最適化やユーザビリティの向上、また、モバイル通販限定のキャンペーン施策による利用促進を図っており、今後もしばらくは高成長が続く見通しである。

##### 商品カテゴリー別：アパレル通販

2011年	前年比	2012年見込	前年比
1兆1,926億円	107.5%	1兆2,861億円	107.8%

アパレル通販は、「楽天市場」(楽天)など仮想ショッピングモールへの出店企業の増加による品揃え拡充や「ZozoTown」(スタートトゥデイ)の好調、また、店舗販売されているナショナルブランドについてもインターネット通販、モバイル通販の展開が増えていることで、アパレルを通販で購入することに抵抗があった消費者を取り込み市場が拡大している。また、ユニクロの機能性インナーウェア「ヒートテック」がヒットして以降、他の通販参入企業も機能性インナーウェアを投入し需要を獲得していることも、市場拡大を後押ししている。

アパレル通販市場は2008年に1兆円を突破しており、2011年は前年比7.5%増の1兆1,926億円となった。2012年は同7.8%増の1兆2,861億円が見込まれる。展開商品数の増加やノウハウの共有などで事業基盤の強化を図るべく大手企業によるM&Aが相次いでおり、今後は上位企業に集中することも考えられる。

#### 【サービス・デジタルコンテンツ】

##### 鑑賞・観戦チケット

2011年	前年比	2012年見込	前年比
3,592億円	112.1%	3,930億円	109.4%

鑑賞チケットはコンサート、劇場、舞台などのチケットや映画チケットを対象とした。また、観戦チケットは主にスポーツや施設の入場券/スキー場のリフト券などのチケットを対象とした。

鑑賞・観戦チケットは、コンビニエンスストア店内に設置されたマルチメディア端末による販売とインターネット通販が中心となっている。2011年は震災による興行・イベントの自粛で一時的に落ち込んだが、夏以降は音楽関連の大型興行のチケット販売が好調だったことなどから、鑑賞・観戦チケット市場は前年比12.1%増の3,592億円となった。

大型興行・イベントの有無に市場動向が左右される傾向が強いものの、コンビニ各社がマルチメディア端末を活用したサービスを強化していることや、スマートフォン向けサービスが好調であることから、今後の市場も拡大していく見通しである。2012年は、前年比9.4%増の3,930億円が見込まれる。

<調査対象>

【物販】通販形態別

カタログ通販	総合、百貨店系、専門
テレビ通販	テレビ通販専門局、番組型ホームショッピング、インフォーマーシャル、スポット広告型
小売拠点型通販	コンビニエンスストア拠点型、ネットスーパー（GMS・量販店宅配）
インターネット通販	仮想ショッピングモール、総合、百貨店系、専門（自社サイト）
モバイル通販	仮想ショッピングモール、総合、百貨店系、専門（自社サイト）
ラジオ通販	ラジオ放送局運営型、番組枠買取型

【物販】商品カテゴリー別

食品・産直品	加工食品、菓子類、酒類、飲料、自然食、水産物、農産物 など
健康食品・医薬品	健康食品、シリーズサプリメント、医薬品
ビューティ他	化粧品、美容器具、健康器具 など
生活雑貨	家庭用品、トイレタリー（化粧品を除く）、食器、台所用品 など
アパレル	婦人服、紳士服、子供服、ベビー服、服飾雑貨、宝飾品 など
家電・パソコン	家電、パソコン本体、パソコン周辺機器、パソコンソフト など
書籍・ソフト	書籍、雑誌、音楽ソフト、映像ソフト など
通信教育・講座	小中高生向け通信教育、幼児向け通信教育、大人向け通信講座、教材 など
その他	家具・インテリア・寝具、ホビー関連、玩具、スポーツ用品、文具、カー用品 など

【サービス・デジタルコンテンツ】

鑑賞・観戦チケット、音楽・映像配信、ゲーム配信、携帯情報・データ配信、その他
--

<調査方法>

富士経済専門調査員による対象企業及び関連企業・団体等へのヒアリング調査

<調査期間>

2012年9月～11月

以上

資料タイトル	：「通販・eコマースビジネスの実態と今後 2012-2013 市場編」
体裁	：A4判 197頁
価格	：書籍版 100,000円（税込み105,000円） PDF/データ版 110,000円（税込み115,500円） 書籍版・PDF/データ版セット 120,000円（税込み126,000円）
調査・編集	：富士経済 東京マーケティング本部 第一統括部 第二部 TEL:03-3664-5821 FAX:03-3661-9514
発行所	：株式会社 富士経済 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル TEL:03-3664-5811（代） FAX:03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL : <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a> <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a>